

## 東京営業所開設について

株式会社 山本忠信商店

### ●山本忠信商店 概要

- ・創業：昭和 28 年（1953 年）
- ・設立：昭和 35 年（1960 年）
- ・資本金：2,000 万円
- ・代表取締役：山本英明
- ・住所：北海道河東郡音更町木野西通 7 丁目 3 番地
- ・業務内容：小豆、大豆を中心とする雑豆の集荷販売及び道産小麦 100% の小麦粉製造販売

### ●東京営業所 概要

- ・2017 年 7 月 1 日付で、東京営業所を開設
- ・東京営業所 所長 坂詰崇
- ・住所 東京都品川区大崎 （5-1-5 高徳ビル 4F）

### ●東京営業所の開設について（経緯～将来）

- ・当社は、－『つくる』を『食べる』のもっと近くに－をミッションとし、小麦の生産者団体「チホク会」や豆類生産者による「ビーンズ俱楽部」を設立てし、生産者と実需者とが直接顔を合わせて対話をすることで、互いの信頼関係によって互いが結ばれる為の取り組みを進めてきた。
- ・徹底的に「北海道農業に寄り添う」ことをモットーとして、実需の農産物に対する評価や期待を生産者に伝えることで、農業そのものの価値向上や農業に対する生産者のモチベーション向上をはかってきた。
- ・2011 年に製粉工場を建設稼働後、実需者との情報交換が活発になってきた中で、実需者の課題が北海道の栽培現場に伝わりきっていないと感じられる例が増えてきた。
- ・北海道十勝に本社を置き、「北海道農業に寄り添うこと」が、当社にとって最も大事なことであるのは今後も同様であるものの、一方で、しっかりと実需者の声や小さな課題や問題を、自らの足で拾いに行く企業努力が、今後の北海道農業にとって必要不可欠であると考えた。
- ・インターネットなどの普及により、以前よりは情報交換ができるようにはなったが、首都圏と十勝では、精神的な距離はまだまだ遠く、・日常起こる小さな声を拾うためには、出張で出向くだけでなく、すぐに会える距離にスタッフを置いて、日々のコミュニケーションを積極的にしていく必要があると考えた。
- ・営業所設置後は、従来当社の小麦粉を取り扱って頂いている商社等を通じての販売になるが、同行営業の強化等を通じ、よりダイナミックに実需者の声を栽培現場や小麦粉の加工現場に反映していく。
- ・営業所では、商社等と共同して自社の豆類や小麦粉の販路開拓のほか、北海道の農畜産物などの販路開拓も行い、「北海道産品専門の販路開拓 & 情報収集拠点」を目指す。
- ・加えて、将来的には商品開発機能を併設し、「道産生産物を使った、販路付きの商品開発のヘッドクオーター」にしたいと考えている。